

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部		
科目名称	事前・事後指導 [Guidance for Practice Teaching]			実務経験教員担当	○	アクティブラーニング	○
科目コード	421110	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	3-4年次
教員氏名	岩田 賢士			学位授与の方針との関連		DP 1 (1) (2) ・ 2 (1) ・ 3 (1) (4)	
授業概要	<p>教育実習は、大学における教育課程の集大成として実施されるものである。今まで学んできた専門的教科や教職課程における教科・科目を通して身に付けた知識・技術や教師として必要な資質を、教育現場で実践し統合する最初の機会である。教育現場では、学習指導・生徒指導・特別活動・クラス経営・部活動・校務分掌等と教員の仕事は多岐に亘るため、事前指導においては、これらの内容について熟知し周到な準備をすることが重要で、特に教育実習生にとって負担の大きい学習指導要案作成、研究授業に向けた準備を重視している。また、事後指導としては、教育実習を振り返り、教員としての自分の資質を反省し改善点を探求し、将来の教師像につなげる物とする。35年間の高校教員としての実践経験を生かし、学生に適切な助言・指導を実施する。</p>						
関連する科目	教育実習・中等教科教育法（農業・理科）・特別活動論等の上に実践する。						
授業の進め方と方法	<p>○一斉授業・・・各講義資料を使って授業を進める。状況に応じてディスカッションをする。 ○体験談発表・・・先輩の教育実習経験談を聴く。 ○模範授業・・・自分自身の模範授業の実施、先輩もしくは同級生の代表による模範授業の実施。 ※一年半の期間を活用して、教育実習に行く前の準備、教育実習に行つての反省を行い、教師としての資質を向上させる。</p>						
授業計画	<p>I 3年生後期 1 オリエンテーション 2 4年生による模範授業 3 模擬授業① 4 模擬授業② 5 教育実習日誌の書き方 6 教育実習伝達講習会 4年生とグループを作り教育実習に関する意見交換をする。 II 4年生前期 7 教育実習に臨んで①：直前に迫った教育実習への心構えやマナーについて再度確認をする。 8 教育実習に臨んで②：挨拶・お礼状など文面の作り方や書き方を学ぶ。 9 教育実習への心構え（健康管理なども含む） 10 学習指導案の書き方：今までの復習と確認 11 模擬授業①：既に実施して来たが、代表者の模擬授業を見て、確認をする 12 模擬授業②：①に同じ。 III 4年生後期 13 教育実習の反省：自分の教育実習をもう一度振り返り反省すると共に、整理をする。 14 教育実習伝達講習会：3年生とグループ討議をして自分の体験談を伝える。 15 教育課程のまとめと将来について</p>						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第1条（目的）を達成するために、学校教育の中で特別活動がどの様に位置付けされているかをしっかりと認識する。 ・高等学校の特別活動には、ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事があり、その目標と学習内容を理解する。 ・ワークショップや発表の機会を通して、他者とのコミュニケーション能力や表現力の向上を図る。 ・これらの授業をホームルーム経営能力の一助とし、将来の教員としての指導力向上を図る。 <p>以上の様な目標を持ち、生徒に人間としての「在り方生き方」を享受できる学生を育成したい。</p>						
授業時間外の学修							
課題に対するフィードバック	<p>○毎回講義後にレポートを出し、提出させる。そのレポートを採点し、返還する。 ※レポートは、指定日までに必ず提出する。 ○テストを実施し、それを返還する。 ○提出レポートに教員への要望・質問欄を作り、そこに書かれていることに回答する ○グループ学習においては、全体発表後、課題に関する解説を入れたり、自己のコメントを入れる。 ○個人的な課題等については、時間外に個別対応する。 ※以上の様な取り組みのまとめとして、ポートフォリオを作成させる。</p>	評価方法・基準	<p>★この講義に関しては、4/5以上の出席をすること。 1 平常点・・・授業中の態度など取組状況（20点） 2 レポート点・・・毎回提出レポートを提出（30点） 3 テスト点・・・テスト（50点：小テスト課題レポート・ポートフォリオを含む） ※場合によっては、期末テストをレポートに代えることがある。</p>				
テキスト	・各講義毎に講義資料を作成し、それを配付する。 ・学習指導要領解説						
参考書	「新しい時代の特別活動 個が生きる集団活動を想像する」相原次男ら ミネルヴァ書房 学習指導要領・学習指導要領解説						
備考	農業高校35年間勤務（教諭時代にホームルーム担任・部活動顧問、管理職として教頭・校長経験）。特別支援学校1年間勤務。宮崎県高体連ラグビー専門部長3年間担当。全国高等学校家庭科部会理事。宮崎県社会教育委員						

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部		
科目名称 [英語名称]	事前・事後指導 [Guidance for Practice Teaching]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	421110	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	3-4年次
教員氏名	杉尾 直子			学位授与の方針 との関連	DP2(1)、DP2(2)		
授業概要	<p>この授業の目的は、栄養教諭教育実習を行うに必要な知識を理解し、技能を習得し学校現場で活用できることとあります。栄養教諭の職務について、学校での取組の様子を学ぶために栄養教育実習の目的、実習に関する諸心得、実習日誌の書き方を事前指導で行います。栄養教諭教育実習終了後の報告会のプレゼン作成等を事後指導で行います。</p> <p style="text-align: center;">【課題探求力、情報リテラシー】</p> <p>栄養教諭として学校現場で経験したことをしっかり伝える授業とします。</p>						
関連する科目	「学校食教育論」「栄養教育実習」「教職実践演習(栄養教諭)」						
授業の進め方と方法	<p>①事前指導では、プレゼン等から栄養教諭の職務を理解する。 ②活用できる媒体の確認や実習に当たっての心得等を学ぶ。 ③事後指導では、事後発表会へ向けたプレゼン作成を行う。</p>						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション(本講義の説明等)から全体的なことを学びます 第2回 栄養教諭教育実習の概要・目的などを学びます 第3回 各学校の研究授業テーマに沿った指導案作成を学びます 第4回 栄養教諭の経験をされた先生の指導から実態を学びます</p> <p>第5回 実習日誌の記入の仕方 第6回 実習にあたっての諸注意と礼状の書き方 実習にあたっての基本を学びます</p> <p>第7回 事後報告会のプレゼン作成 第8回 事後報告会 実習後の報告の仕方を学びます</p>						
授業の到達目標	<p>【予習】事前訪問で研究授業テーマ聞いて指導案作成を行い、研究授業用の媒体作成を行ってください。(2時間程度) 【復習】実習後の報告会準備でプレゼン作成を行ってください。(30分程度)</p>						
授業時間外の学修	<p>栄養教諭教育実習の目的が理解でき、研究授業も含めて学校での教育活動を遂行できる。 【課題探求力、情報リテラシー】</p>						
課題に対する フィードバック	指導案の確認・指導媒体作成への助言等を行います。	評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢や発表等(20点) ・学校からの実習評価(実習日誌含む)(60点) ・事後報告会(20点) 			
テキスト	・栄養教諭作成の指導案をテキストとして配布						
参考書	特にありません。						
備考	栄養教諭教育実習が4年時、5月から6月に実施される関係から、本授業の8回のうち4回を3年後期、残り4回を4年前期に実施する。詳細な日程は、第1回目の講義時に学生に説明する。						